

『とびらをあけて ー特別編ー』



日野町政、2期目 スタート

2期目を当選した日野町長の、これからの4年間にかかる“意気込み”や“町政への思い”を町長コラム「とびらをあけて」の特別編でお届けします。

九重町の課題や目指すもの

- ① 豪雨災害からの復旧・復興
- ② 観光・農業の再興、コロナ倒産ゼロ
- ③ 新しい時代のひとつづくり、子育て支援・教育の充実
- ④ 新しい時代の地域づくり、コミュニティの強化
- ⑤ 財政の健全化・行政のスリム化

このたびの町長選挙におきまして、町民の皆様よりご信任をいただき、無投票で2期目のかじ取りをさせていただくこととなりました。

人口減少に起因する多くの問題や、災害からの復旧復興、コロナ禍における産業の衰退など、多くの課題が山積してはいますが、皆様の期待に沿えるよう全身全霊をもって努力してまいります。

これまでの4年間は、「町は人なり」を信念に、子育て環境の充実や、行政事業の民営化、新たなチャレンジ予算の創設、財政の健全化など多くの事業に取り組んできました。

2期目においても、人口減少という時代だからこそ人の繋がりがやコミュニティなどの基本を大切に、1期目で取り組んできたことにも引き続き取り組んでまいります。

その中でも、まず取り組まなければならぬことは、何といっても災害からの復旧復興です。7月の豪雨災害は、家屋や耕地や河川や山林など、これまでに経験したことのない未曾有の災害となりました。自宅が浸水や半壊・全壊の

被害に遭われた方々、また同じく被害に遭われた店舗や旅館等をされている方々にもお会いしました。皆さんこれからのことをとても不安に感じていますので、安心・安全なまちを目指すために、早期の復旧復興をスピード感ではなくスピードを持って必ず成し遂げます。

また同時に、豪雨災害だけではなく、あらゆる災害に備えた対策を講じてまいります。

コロナ禍や災害の中では、財政にも大きな影響がでます。コロナ対策では、予算も大幅に増やして対応してきました。災害対策においても、これから復旧費が膨らむことが予想されます。現在、起債の返済に約7億円、維持管理費に約8億円の費用がかかっています。人口が減少すれば、一人ひとりの負担はさらに大きくなっていくこととなります。そのため、必要な事にはこれからも躊躇なく取り組みつつ、同時に未来の子どもたちに出来るだけ負担を残さないよう、平準化を図りながら財政の健全化を計画的に進めてまいります。

コロナ禍や災害に加え、もう一

つ重点的に取り組んでいかなければならない事は、九重町の基幹産業である「農業」と「観光」の再興と、コロナ倒産を防ぐことです。これまで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにあらゆる手を尽くし、かつ経済の両立を図ってまいりました。

農業については、コロナ禍と災害で厳しい状況下ではありませんが、小規模災害対策事業等を取り入れながら、復興に向けて取り組んできました。九重町は中山間地域に多くの農地があるため、大量生産が難しく、高付加価値ブランド化による所得増を目指さなければなりません。特産品の開発にも力を注ぎ、所得の向上を図ってまいります。また同時に、高齢化による農業経営者不足の課題を解決していかねばなりません。今後もし引き続き、各種補助事業やファーマーズスクールなどの研修事業に取り組み、後継者問題に取り組んでまいります。また、耕作放棄地を解消するため、農地中間管理機構を活用して農地の集積規模拡大を図ってまいります。

観光事業でも、コロナ禍と災害でこれまでに経験した事のない厳

しい状況に追い込まれています。

これらの危機を乗り越えるために、国や県の事業に加え、九重町ではプレミアム商品券の発行や感染対策事業、災害での各種補助事業等を行ってきました。現在は復興へと一歩ずつ前進し始めているのではないかと感じております。この他にも、県内市町村と連携し、学校給食の食材交換事業や小中学校の県内修学旅行など、観光だけに止まらず、関連する農業においても取組を行ってきました。そして、これらを互いの連携や交流を見直す良い機会と捉え、学校間の事業だけではなく、民間の交流にも広げてまいります。

新しい時代の「人づくり」や「地域づくり」は、子育て支援や教育の充実、そしてコミュニティの強化など、これからのまちづくりの大切な根幹でもあります。

『九重町まち・ひと・しごと総合戦略』でもお示ししてきましたように、「ひとづくりから始まるまちづくり」を基本に、未来の人材を創っていかねばなりません。そのためには、町民の皆さんと行政が意識の共有を図ると共に、町民の皆さんと一体となるこ

とが大切です。これまで行ってきた町民の皆さんとの対話を原点として、今後も対話をさせていたただく中で、未来の九重町を創る協働作業を続けてまいります。

ものからコトに代わった時代、人口減少の時代を生き抜くためには、町民の皆さんを抜きにしては語れません。災害からの復旧復興も、皆さんを抜きにしては語れません。それは「自助、互助、共助、公助」という、自分でできることは自分で、家族や知人や隣人の協力で出来る事や地域や行政区や組織で出来る事は互いに共に皆さんで、公がやるべき事は公で、それぞれ役目をもって進めていただかなければならないためです。町民の皆さんには、そのことをご理解していただくと共に、ご協力をお願いいたします。

安心安全で持続可能な未来の町を目指して行きますので、これからも皆さんのご指導ご鞭撻を、よろしく願います。

九重町長 日野 康志